

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆賃上げへ国内投資加速 経団連、200兆円目標表明

・政府は首相官邸で経済界と意見交換する「国内投資拡大のための官民連携フォーラム」を開いた。賃上げの定着や脱炭素の実現には成長分野や研究開発への投資が不可欠だとの認識を共有した。経団連は2040年度に国内向けの民間設備投資について200兆円を目指す新たな目標を示した。

◆介護施設でスキマバイト募集 アプリ活用、厚労省が支援

・厚生労働省は介護事業者が人材仲介アプリで未経験者を集める取り組みを後押しする。送迎や清掃など介護資格が不要な業務を切り出し、アプリで募集をかけてもらう。スキマバイトのように短時間や短期で働く学生ら呼び込み、人手を確保する。2025年度に一部の自治体で実証事業を始める。

◆24年度の実質成長率は0.5%、25年度は1.3% NEEDS予測

・日本経済新聞社の経済・金融データサービス「NEEDS」の日本経済モデルに、2025年1月24日までに公表された各種経済指標の情報を織り込んだ予測によると、24年度の実質成長率は0.5%、25年度は1.3%の見通しに。24年10～12月期の実質GDPは前期比0.5%増(年率換算で2.1%増)と、3四半期連続でプラス成長になった模様。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆建設資材、高止まり 今年前半 工事停滞でも原燃料高

・鉄鋼や木材、セメントといった建設用資材の価格が2025年前半も高止まりしそう。建設市場の低迷で需要は振るわないが、原燃料相場や物流・人件費の上昇を理由に木材やセメントのメーカーは値上げ姿勢。鉄鋼価格も足元で下落基調が緩やかに。建設コストは当面下がらず、マンションや戸建て住宅も高値圏が続く公算大。

◆エアコン4年ぶり出荷増 北海道、冬の灯油高で需要シフト

・日本電機工業会(JEMA)は27日、2024年のエアコン出荷台数が前年比6%増の935万4000台だったと発表。増加は4年ぶり。けん引役は北海道や東北など寒冷地。夏の猛暑に加えて冬は石油ストーブに使う灯油価格が高騰し、冷房にも暖房にも使えるエアコン需要高まる。三菱電機やダイキンなど寒冷地シフトを敷き始めた。

◆自宅担保に耐震改修、70歳以上はローン金利ゼロ 国交省

・国土交通省は高齢世帯が住む家屋の耐震改修を後押しするための新制度を設ける。自宅を担保にして資金を借りる「リバースモーゲージ」と呼ぶローンに関し、70歳以上であれば毎月の返済負担をゼロにする。早ければ2024年度末に金融機関が商品を提供できるようにする。

《 注目商品 》

■ダイキン、エアコンや空気清浄機でアートを表現する新ブランド

・感性のままに空間をデザインするブランド「The Art Line(ジ・アートライン)」を新設。第1弾として、ルームエアコン「risora(リソラ)」と「加湿ストリーマ空気清浄機(70タイプ)」のパネルに伝統工芸品やアート作品、自然素材などのデザインや質感をあしらった。



■セキスイデザインワークス「スマリ」対応宅配ボックス5機種

・「Smari(スマリ)サービス」に対応した宅配ボックス5機種を発売。三菱商事が展開する、EC商品、フリマ商品、レンタル商品の発送をスムーズに行なえるサービス。自宅の宅配ボックスから発送可能。「メルカリ」の「らくらくメルカリ便」にも対応。



■パーパス、本体デザインを一新 業務用排気フード対応形給湯器

・エコジョーズ業務用排気フード対応形給湯器をリニューアル。本体色にシルバーメタリックを採用し、給気口カバーをラウンドフォルムに変更。オプション品のデザインカバーを新設定し、オープンキッチンなどデザイン性が求められる厨房空間に対応。

